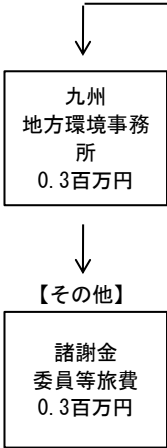
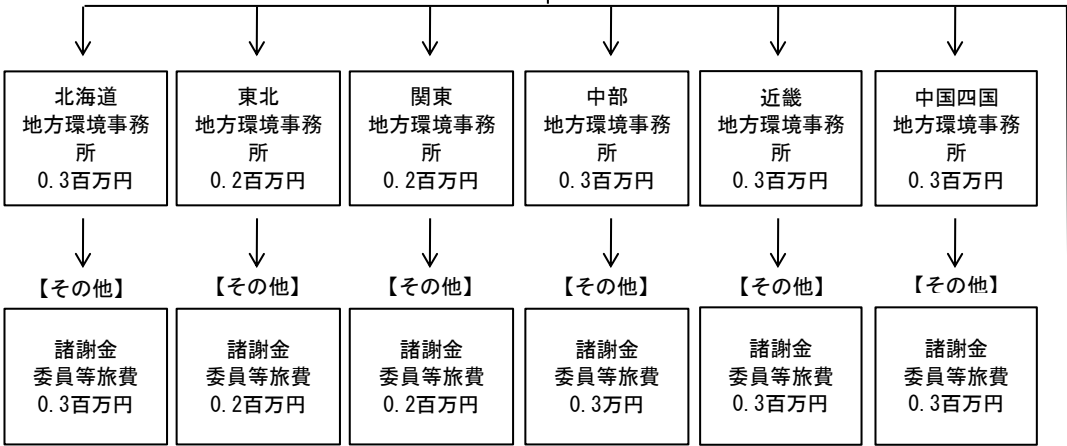


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	自然公園等利用ふれあい等推進事業経費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	自然環境局		担当課室	総務課自然ふれあい推進室	室長 堀上 勝	
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・自然公園法第3条		関係する計 画、通知等	・生物多様性国家戦略2010 ・21世紀環境立国戦略		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	自然公園指導員の人員確保・指導技術向上により一層の自然保護思想の普及、適正利用の推進を図るとともに、パークボランティアの拡充により、自然体験機会の拡大など、自然とのふれあいの推進を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	自然の保護や自然公園等の適正な利用の推進を図るため、自然とのふれあいに関する普及啓発、国立公園等で利用者の指導をする自然公園指導員及び自然解説を行うパークボランティアの研修等を行う。					
実施状況	○自然公園指導員やパークボランティアの知見や技術向上を目的とした研修を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5	5	3	3	3
	執行額	2	2	2		
	執行率	47.3%	53.8%	57.1%		
	総事業費(執行ベース)	2	2	2		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	各地方事務所において、研修会の参加状況等を確認し、適切に執行している。				
	見直しの 余地	研修会等の実施にあたり、講師選定等の工夫(諸謝金が不要となる官公庁職員を講師候補とするなど)により、本事業の目的に沿ったより適切な執行に努めていくとともに、執行状況を踏まえ、他事項との統合について検討する。				
予算   監視 の・ 所効 見率	一部改善 (支出実績を勘案し、講師選定の工夫等を踏まえ予算節減を図るべき。)					
補 記						

環境省  
1.9百万円



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)